



特集

共働き家庭のための 出産準備アップデート

共働き世帯が全世帯の6割を超え、働く女性の中では第1子出産後も継続して就労する割合が5割を超えています。助産師が会う妊産婦の多くが「働く女性」であり、パートナーも就労している「共働き家庭」です。これらの家庭は、妊娠・出産・育児において、専業主婦やその家庭とは異なるニーズと困難を抱えることになります。出産や育児のために準備することや、必要とする情報も異なります。

本特集では、「共働き家庭を対象とした出産準備・育児教室に追加したい内容」を念頭に、助産師の専門分野（助産・医学情報や育児技術）以外の情報をまとめました。対象のニーズを捉え、的確な情報提供と支援につなげるために、助産師がアップデートしたい内容や考え方をご紹介します。

